

<端末も多様、ユビキタス時代> (100418 産経)

「大型カラオケボックス店に入った若い女性 2 人組は、受付カウンターからそれぞれ別の部屋に向かった。「ヒトカラ」(=1人カラオケ)をするためだという。人に聴かせ、話で盛り上がり、ストレス解消!……というイメージは崩れた」「歌いたい歌を思い切り歌いたい。友達とは歌がかぶるので」。都内私大 2 年生は「タカラ」(=多人数カラオケ)も好きと笑うが、週 1 で 1 時間のヒトカラを楽しむ」

「部屋に入った山村(仮名)は自分の歌に陶醉したのでは、もちろんない。カラオケ機器メーカー「第一興商」(東京)が運営するユーザー組織「DAM★とも」の会員認証機能付きリモコンを慣れた手つきで操り、AKB48 の「桜の栞」を歌って、その場で録画した。アップした動画をミクシーで公開し、携帯電話やパソコンで再生してくれた友人からコメントをもらうのが楽しみなのだ」▽「『何でこんな歌、知ってるの?』とか来るとうれしい」と山村。盛大な拍手に酔う夜のお父さん族と、そう変わらない。…会員は全国で 100 万人にのぼり、中高生ではなく、なぜか「23 歳」が最も多いという。▽同様のサービスの先駆けは、「エクシング」(名古屋)が運営する「うたスキ」だが、同社の最新機器「CROSS」を使えば、他人の歌う動画をカラオケルームで再生し、一緒に歌う“バーチャルデュエット”も可能。時空を超えた二重唱動画の公開までできる。▽若者の間ではカラオケが現実空間から飛び出し、「素人シンガー」の動画がネット上を飛び交う。山村がヒトカラに孤独感を持たない理由が、そこにある。ただ、空間を共有して築かれる濃厚な人間関係や連帯感は、生まれてこないのかもしれない」

「全国カラオケ事業者協会の調べでも……。▽CD よりもネットでの音楽配信が主流となり、歌の嗜好が多様化した。「音楽産業の川下にあるカラオケも嗜好、歌い方もさまざまになった。タカラからヒトカラ、衣装を着てなりきるナリカラ、踊りが入るフリカラまでである」。関西外国語大でカラオケ進化論を教える……」「カラオケ端末を取っても、携帯電話やゲーム端末にまで広がり、ユビキタス (IT による遍在) 時代に入った」「……「結局はいかに楽しく歌ってもらうか。音楽と画像が最大の勝負どころ」という基本」「それは「歌いたい」という欲望を下支えし続けた、日本のもの作り文化の結晶でもあるのだ」

<南アフリカってどんな国?> (100503 朝日)

人口 5011 万人、面積 122 万、人種の内訳は黒人 79.3%、白人 9.1%、カラード(混血系)9.0%、アジア系 2.6%。主な産業は工業として食品、製鉄、化学、繊維、自動車など。鉱業として金、ダイヤモンド、プラチナ、鉄鉱石、石炭など。農業として畜産、とうもろこし、かんきつ類など。ワイン作りも盛ん

1652 年	オランダがケープタウンを建設。白人支配が始まる。
1880 年~1902 年	英国とオランダ系移民が戦争。英国が勝利
1910 年	英国自治領南アフリカ連邦発足。 <u>アパルトヘイト</u> の制度化が進む
1980 年代	反アパルト運動激化。国際社会が南ア政府に経済制裁
1990 年	<u>マンデラさん</u> 27 年ぶりに釈放
1991 年	<u>アパルトヘイト</u> 関連法の廃止
1994 年	全人種参加の総選挙。マンデラ大統領就任
1997 年	新憲法発効
1999 年	ムベキ大統領就任
2009 年	ズマ大統領就任

* GDP はアフリカで 1 位 (世界 29 位)。失業率 20%以上。「世界で一番危険な国」とも「とくにサハラ砂漠より南に住む約 7 億 8000 万人の半分以上が 1 日 1 ドル(約 93 円)未満で暮らし、子どもの 6 人に 1 人は 5 歳までに死んでしまい……」「W 杯は単なるサッカーの大会というだけでなく、アフリカの将来に大きな影響を与える重要なイベントと考えられている」* サッカー W 杯は 6 月 11 日開幕 (7 月 11 日決勝)。32 チーム出場